

農場体験見学会を開催しました

とうきょう元気農場では都心部の学校給食に出荷する野菜を育てているほかに、農場体験見学会を開催しています。令和4年は10月から11月にかけて4回の体験見学会を実施しましたので、その様子をお伝えします。



10月15日は東京都内の学校栄養教職員等の皆様、10月29日は都内の企業・大学の食堂関係者の皆様を対象にサツマイモの収穫体験や農場見学を行いました。

参加者は普段使う食材がどんな姿で育っているのか、出荷までにどのような作業があるのか、興味をもって参加して下さいました。見学会終了後、参加者からは「畑の様子を子供たちに伝えたい」「職場の仲間にも見学会への参加を勧めたい」などの声が聞かれました。



11月21日は都内小学校児童、11月26日は親子での参加者を対象にサツマイモと大根の収穫体験や農場見学を行いました。

元気農場の体験見学会(全4回)では収穫体験のほかに農業機械の展示も行っています。参加者は様々な農業機械の使い方について質問をしたり、実際にトラクターの座席に座ってみたいしました。

右の写真は農場でとれた奇形のニンジンです。お店では見ない形のニンジンですが、農場では天候や土の状態によって奇形になることがあります。

収穫からお店に並ぶまでの間には、写真のような規格に合わない形や大きさ・色の野菜が取り除かれて、出荷されます。他にも洗浄や葉の切り落としなど、収穫と出荷の間にはいくつか工程があります。

お店に行くと形が揃っていてきれいな野菜が手に入るの、農家さんのこのような苦労があるからです。



※本記事の内容は、食育の推進に関わる活動においてご自由にご使用ください。

東京都農業振興事務所 都市農業担当